

第48回民俗芸能の夕べ兼北緯40° ナニヤトヤラ連邦郷土芸能交流祭について

1. 趣 旨

八戸市と三圏域（久慈・二戸・八戸）で活動している民俗芸能団体の技術向上や伝承活動の活性化に寄与する発表の場を設け、三圏域住民の民俗芸能に対する理解を深める。

2. 主 催 八戸市教育委員会、北緯40° ナニヤトヤラ連邦会議

3. 会 場 SG GROUP ホールはちのへ（八戸市公会堂文化ホール）

4. 日 時 令和7年12月6日（土）12:30～（開場は30分前）

5. 出演団体

【民俗芸能の夕べ枠】

白銀おしまこ、湊沖揚音頭保存会男組、中野神楽保存会、
新井田山道札組（以上、八戸市）

【北緯40° ナニヤトヤラ連邦郷土芸能交流祭枠】

小袖漁撈唄保存会（久慈圏域、久慈市）

深山神社神楽保存会（二戸圏域、二戸市）

南部町郷土芸能保存会（八戸圏域、南部町）

6. 解説者 八戸市文化財審議委員長 滝尻善英氏

7. タイムスケジュール（予定）

上演時間	内容
12:30	開会
12:45	小袖漁撈唄保存会
13:15	白銀おしまこ
13:35	深山神社神楽保存会
14:00	休憩
14:20	南部町郷土芸能保存会
14:45	湊沖揚音頭保存会男組
15:10	中野神楽保存会
15:40	新井田山道札組

8. 入場料 無料

9. 申込み 不要

庶民の中から生まれ、育まれた民俗芸能は、
春を祈り、大漁豊作を願い、共に楽しみ、
四季折々のうつろいを彩りながら
現代に伝えられてきました。

出演団体名

- 白銀おしまこ
- 中野神楽保存会
- 小袖漁撈唄保存会
- 南部町郷土芸能保存会
- 湊沖揚音頭保存会男組
- 新井田山道扒組
- 深山神社神楽保存会

深山神社神楽保存会

第48回

民俗芸能の夕べ

兼 北緯40°ナニヤトヤラ連邦郷土芸能交流祭

日時

令和7年 12月6日 土

〈開演〉12時30分 (開場は30分前)

場所

SG GROUPホール はちのへ

(八戸市公会堂文化ホール)

入場無料

申込み不要

ご来場
おまちしております！

白銀おしまこ

中野神楽保存会

湊沖揚音頭保存会男組

新井田山道扒組

南部町郷土芸能保存会

令和7年度是川縄文館考古学講座（後期）

人骨からみる縄文人

縄文時代の遺跡から見つかる人骨からは、縄文人のすがた・血縁関係・食生活など様々な情報を引き出すことができます。古人骨の分析方法や最新の研究成果について学びます。

第1回

R7
12/13 土

講師：藤澤 珠織 氏

(青森中央学院大学看護学部 准教授)



骨が語る縄文の記憶

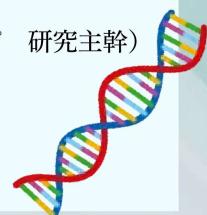
—形から読み解くからだと暮らし

第2回

R8
1/17 土

講師：神澤 秀明 氏

(国立科学博物館 生命史研究部 人類史研究グループ 研究主幹)



ゲノムからみる縄文人

第3回

R8
2/14 土

講師：米田 穂 氏

(東京大学総合研究博物館 教授)

骨とオコゲの同位体分析で見えてきた
縄文時代の食生活

会場：是川縄文館 1階 体験交流室

時間：14時～16時 聴講無料・要申込（定員100名）

※定員に達し次第、受付を終了しますので、お早目にお申込みください。

お申込み・お問合せは

八戸市埋蔵文化財センター

是川縄文館

〒031-0023 青森県八戸市大字是川字横山1

<https://www.korekawa.jomon.jp/>

TEL：0178-38-9511



みんなの
まつえん



11月教育委員会定例会
令和7年11月20日
教育委員会図書館

冬のおはなし会 「いっしょに見つけよう！冬のおはなし！」の開催について

1. 内容

閉館後の図書館で、冬やクリスマスに関するおはなしのほか、ドレミパイプの演奏を楽しむ。

2. 開催概要

- (1) 開催日 令和7年12月6日（土）
- (2) 時間 午後5時～午後5時45分
- (3) 場所 八戸市立図書館1階
- (4) 対象 どなたでも
- (5) 定員 先着60名程度（事前申込み不要）
- (6) 協力 八戸学院大学短期大学部読み聞かせサークル

11月教育委員会定例会
令和7年11月20日
教育委員会図書館

自動車破損事故に係る損害賠償額の専決処分について

- 1 発生日時 令和7年9月17日（水）午前11時15分頃
- 2 発生場所 八戸市立図書館車庫前駐車場
- 3 事故の概要 移動図書館車が車道から後退で八戸市立図書館車庫前駐車場に侵入する際、左後方に駐車していた被害者の車両の右前方部と移動図書館車の左後方部が接触し、双方の接触部分が破損したもの。
- 4 損害賠償額 289,696円
- 5 専決処分月日 令和7年10月22日
- 6 示談成立月日 令和7年10月22日

八戸市南郷歴史民俗資料館

ミニコレクション展「器(うつわ)」

開催要項

【内容】

本展は食器や容器である「器(うつわ)」をテーマとする。

陶磁器は古くから生産され、様々な用途で使われてきた。また、樹木を材料にした器は、削り出して作るものから挽き物へ、部材を組み合わせて作る桶や箱型の容器へと発展した。他には木竹等を編んで作る籠類が活用され、金属製の器も身近なものとなった。

当展では、南郷歴史民俗資料館に収蔵された資料の中から、「器」として使用された資料を選び出して展示する。

【期間】

令和7年11月29日(土)～令和8年3月15日(日) 開催日数87日

前期：令和7年11月29日(土)～令和8年1月25日(日)

後期：令和8年1月31日(土)～令和8年3月15日(日)

展示一部入替作業：令和8年1月27日(火)～30日(金)

※作業期間中は常設展示のみ閲覧可

【休館日】

毎週月曜日（第1月曜日、祝日・振替休日の場合は開館）

祝日の翌日

年末年始（令和7年12月27日(土)～令和8年1月4日(日)）

【会場】

八戸市南郷歴史民俗資料館 特別展示室

【開館時間】

午前9時から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

【入館料】

一般 150円（100円）

大学・高校生 100円（50円）

小・中学生 50円（30円）

【主な展示構成】

- ・陶磁器
- ・木の器・竹の器
- ・金物の器

出品予定資料



酒樽



酒徳利



ガラス瓶



内耳鍋



編み籠 (イタヤ細工)



ホーロー皿